

なかさと

かよく しこく わやかに もに輝く

学校だより 第21号



一関市立中里小学校
令和3年 1月18日

☆∞ **3学期、今年度のまとめと次年度の準備を!** ∞☆

1/15 (金)

3学期始業式



3学期がスタート。新年の抱負を胸に、子ども達が元気に登校し、校舎に、にぎやかな声もどってきました。

今年の年末年始は、新型コロナウイルス感染症対応だけでなく、大雪の対応で、例年とは全く違う過ごし方を強いられました。各ご家庭では、どんな冬休みを過ごされたでしょうか。子ども達は、家に留まりながら、お正月らしい遊びや、雪掻きの手伝い・雪遊び等、楽しむことができたでしょうか。異例な冬休みでしたが、ご家族とふれあい、有意義な冬休みを過ごすことができたことでしょう。

コロナウィルス感染症に関わって、「新しい生活様式」が示されているこれからの時代をどんなふうに生きていくか。話題にしながらお正月を過ごしたご家庭も多かったのではないかと思います。このような時代だからこそ、心に決めた目標を意識して、日々を大切に過ごしてほしいと願っているところです。

学校生活の締めくくりとなる3学期は、生まれやすく終わりが来てしまうような短い学期です。新しい学年への進級・進学を意識した学期の目標を持たせながら、充実した日々が過ごせるよう励ましていきたいと思ひます。

市内でもコロナウィルス感染症の罹患者報告が出ていますし、これから他の風邪やインフルエンザ等が流行るシーズンとなります。ご家庭との連携を密に取り、感染症対応を怠らず学習環境を整えて、指導を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



始業式児童代表のこたば

今日から三学期が始まりました。三学期は、1年で一番短い学期です。

今年度一年のまとめの時期でもあります、来年度の準備の時期でもあります。一日一日を大切に過ごしながら、今年度の力をしっかりつけて、4月から新しい学年になるための心構えを作っていきます。

さて、ぼくたち6年生にとっては、小学校生活最後の学期となりました。6年間の総まとめの時期となるので、気を引き締めて過ごしながら、卒業に向けて準備を進めていきたいと思ひます。特に、次期リーダーとなる5年生には、登校班長やたてわり班長、委員会や鶏舞など、しっかりと引継ぎをしていきたいと思ひます。

卒業までには、まだ少し時間がありますが、これまで、いろいろな活動で協力してくれた1~5年生のみなさん、お世話になった先生方に感謝の気持ちを持ちながら、三学期を大切に過ごしたいと思ひます。

< 6年 * * * * >

転入生紹介

- 【1年】 * * * * (***)さん 一関市立永井小学校より
- 【2年】 * * * * (* *)さん 一関市立永井小学校より
- 【2年】 * * * * (* *)さん 一関市立永井小学校より

よろしくね!

「まなびフェスト・そだてフェスト」に関わるアンケートへのご協力 ありがとうございます！

2学期末に実施いたしましたアンケートを別紙（A3判の集計結果）のように集計しました。年末のお忙しい時期にもかかわらず、今回も9割以上のご家庭から提出いただき、ご家庭の関心の高さも成果と確認しています。ありがとうございました。

別紙の集計結果と重複しますが、今学期も保護者・児童アンケートのほとんどの項目は、「よくあてはまる」「どちらかというにあてはまる」（肯定的回答：白抜き数値）割合が80%以上だったので、学校の重点的な取組については、おおむねご理解いただいているととらえています。全体的に、ご家庭の回答に比べると、児童の回答は肯定的評価が低めでした。コロナ禍の厳しい状況の中、様々な取組についてよく頑張っていたと感じていたのですが、1学期と比べて児童の肯定的回答が減っている傾向が見られました。がんばったことはがんばったと胸を張れるよう、振り返りの視点や頑張りに対するほめ方等を工夫し、子ども達の自己肯定感を高めることを意識することが必要と感じています。

【豊かな心の育成に関わって】

1学期同様「クラスの中に仲の良い友だちがいる」児童の割合が、9割以上で、項目上最高値で嬉しい結果でした。ただし、成果の指標として掲げた「学校は、楽しいと感じる」児童の割合は、85%と、目標にした9割を下回る結果でした。1学期は、90%でしたので、1学期よりも下回る結果となってしまいました。

また、児童の項目 No5・6の「学校の決まりや約束を守っている」「相手の気持ちを考えて人と接している」は、9割以上の児童が肯定的に回答し、実際に頑張りも見られるのですが、「中里っ子7つのちかい」を忘れがちで、学校の生活時程に合わせられない行動やいじめに繋がりがねない乱暴な言動が止められない児童も見られます。保護者アンケートの自由記述にも見られるような心配な事態について、学年でも、学校としても課題と捉えて、手立てを考えながら取り組んでいるところです。3学期のスタートに当たり、「生活リズムがんばり表」で生活リズムを取り戻す取組を行います。それとともに学校での生活の仕方についても確認し、その状況について家庭と連携しながら取組みたいと考えています。学年毎の発達段階に応じた取組を考えていきたいと思いますが、ご協力をお願いいたします。

中里っ子7つのちかい

- ① 元気よくあいさつします
- ② 時刻や時間を守って生活します
- ③ 校舎内では静かにします
- ④ 勉強に集中します
- ⑤ きれいな学校にします
- ⑥ 校外生活のきまりを守ります
- ⑦ みんなを思いやる
中里の子になります

【自ら学ぶ力の育成に関わって】

感染症対応のため、学習の進め方も思うようにいかない部分がありますが、9割の児童が「学校の勉強は、よく分かる」と回答しているのは、嬉しい結果でした。自分でよく考え、友達との交流も大事にしながら学習を進めている児童の多いことが功を奏しているのでしょうか。成果指標とした、国語・算数ワークの状況は、期待得点以上の結果でがんばりの成果が出ていると感じています。

ただし、「学習したことを忘れないようにくり返し練習すること」や「ことばの時間や外国語活動で学習した言葉を進んで使うこと」については、頑張りの足りなさを感じている児童の割合が多めでした。繰り返し練習や学習内容の活用について、苦手意識が強い児童も見られますので、ご家庭とも相談しながら、効果的な働きかけを工夫していきたいと思えます。

【健全な身体の育成に関わって】

「外遊び」「運動」に関する項目について、肯定的に回答した児童が多く、コロナ禍にありながら、良い傾向でした。「早寝・早起き・朝ごはん、歯みがき」「テレビやゲーム等、家で決めたルール」については、肯定的回答が少なめでしたが、「肥満度、正常値内の児童」の割合は、昨年度より高くなっていて、取組の成果ととらえています。また、今年度は、感染症対応としての「三密回避」「うがい、手洗い。マスク着用」「換気、消毒」等を心がけた成果か、体調不良の保健室来室や欠席者数が例年より少なくなっています。前記の取組とともに、感染症予防の取組が、児童の健全な身体づくりに役立ったととらえています。

ただし、保護者アンケートの自由記述にも見られたように、2学期になって室内でマスクを着用していない子ども達が見られるようになりました。その他の感染症予防策も含めて、子ども達と再確認しながら、取組を徹底していきたいと思えます。

アンケート結果をご覧いただき、さらにご意見等ありましたら、その都度お伝えいただけるとありがたいです。保護者・地域の皆様と課題を共有しながら、職員一同力を合わせて、よりよい「なかさとの子」の育成に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。